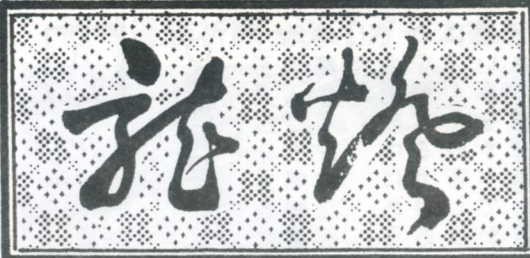


第23号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 霊亀山 九島 禅院
 〒550 大阪市西区本田3丁目4-18
 ☎06-583-2725
 発行人 住職 奥田啓知(智證)



映画『失楽園』大反響

楽園を失ってからでは遅いよ

大阪にオリンピックを！
 九条に中華街を！
 二十一世紀まであと二年！

男、久木祥一郎五十五才、女松原凜子三十八才といえ、映画『失楽園』の主人公です。左遷された出版社の編集者が、医者妻で書道家の人妻と不倫のすえ、心中という破局を迎える小説ですが、日経新聞に連載されるや大反響を呼び、映画館は一時の夢？を求める女性たちであふれ返っているようです。小柄も家内とさっそく観に行きましたが、複雑な想いをのこしながら、家路に就きました。

「男と女はここまで愛し合えるのか」との映画の宣伝文句に効いたのか、『失楽園』症候群なる社会現象すら起こっています。元禄時代には、京・大坂を中心に心中が流行しそれが浄瑠璃などにになり、触発されて次の心中事件がおきたそうです。幕府も心中者の刑罰を重くし、心中事件の出版上映を禁止したといえます。

浮気・不倫・心中は当然のこゝろすなかれ）・不倫盗戒（盗

むなかれ）・不邪淫戒（淫らで邪な性を行なうなかれ）・不妄語戒（嘘をつくな）・不飲酒戒（酒を飲むな）の五戒を定めています。三番目の不邪淫戒には夫以外の男性、妻以外の女性とのセックスを戒めています。でも、これは道徳律ではありません。完全に守りきれなくてもよいのです。大事なものは、懺悔することなのです。

もし浮気をして、奥さんにバレてしまった時など、奥さんとの愛を守ろうと考えているのなら、率直に懺悔するしかないのです。いろいろと取り繕ったり嘘をついたりしてはいけません。それは一つ戒を破って、またもう一つ戒を破ることになるからです。嘘をつくこと、つじつまを合わせるために、また嘘をつかねばなりません。戒を次々に破ることになってしまいます。ただひたすら懺悔し、自分の弱さを反省して、許しをこうすることで、それがそが愛を取り戻す唯一の道なのです。

浮気をされた奥さんも、ご主人を信じていればいたほど、シ

ヨックは大きいですが、浮気をされる側にも省みてほしいのです。結婚して何年もたつと、夫婦関係がマンネリ化して、主人は地位も上がり仕事が忙しくなり奥さんは育児や家事に追われる家庭が省みられず、ギスギスした雰囲気になります。二度と浮気をさせないためには、こんな環境を改めていかねばなりません。フランスの格言に「愛はいつも、いっそう深まっていくからだんだん冷えていくかのどちらかである」とありますが、夫婦の愛情も、深める努力を怠ったとき、冷却にむかっていくのです。

結婚した夫婦は、愛があつて結婚した。けれども、結婚生活のなかで日々、その愛を深める努力を続けないと、愛は冷却してしまいます。完全に冷えきつてからでは遅いのです。いますぐ、愛を深める努力をはじめてほしいのです。とくに『失楽園症候群』の方には！



